



児玉 光生さん
(いわき健康センター
フィットネス&スパ温泉チーフ)

10



日本一の健康センターに

いわき健康センターにこの10月、「フィットネス&スパ温泉(おら)」がオープン。いわき初上陸となる大迫力の「VR」導入に注目が集まっている。このジムでチーフを務める児玉光生さん(24)は、馬術の元国体チャンピオン。遠く宮崎県出身だが、縁あって昨年入社。以来、「日本一の健康センターにしたい」と、意欲を燃やしてきた。そんな中、今回、フィットネス事業の大黒柱に大抜てき。「いわきのスポーツが盛り上がり、健康な人が増えるよう頑張りたい」と意気込んでいる。

波光

裸足で土の上を歩いたり、走ったりすると、小気味よかったです。心身に妙な安心感が生まれたものだったが、今は

土、まったくいいものだ

至る所アスファルト、コンクリート。隣地の小公園も流行のダスト舗装とかで、土の姿はない。自然も年々狭くなり、さみしい限りだ。

時折、上京する。宿泊のホテル館内には形ばかりの小さ

な庭園、草木の緑が少し見えるものの、近辺に目を移しても土は皆無。都会という場所柄、仕方のないこととはいえ、このジャングルの住民たちは、土のことなど一片も頭にはないのだろう。自身、土にそここだわって

いるわけではないが、自宅に八十平方メートルほどの庭が確保出来た。毎朝、外をひと眺め。小さな愉悅を覚えていたが、強い海風のたびの土埃。家人たちの口撃で半分ほど人工芝で覆われ、臍を噛む思いの日々が続く。

我々が土から受ける恩恵は絶大だ。にもかかわらず、畑や山野は別に、地方と言っても、生活圏からは急激に土が消失し、代わって無味な建造物が大手を振るう。残念ながら、「泥んこ遊び」などはもう過去の域に入ってしまったのだろう。時の流れ、あまりにも早すぎる。

「自然回帰」というほどではないものの、過日、靴下を脱ぎ庭の土を踏みしめた。ふんわりしてコトのほか気持ちがいい。すっかり忘れていた感触、匂いまで懐かしくよみがえり、思わず両の手ですくい上げ、大笑した。(編集長)

次号予告

11月号は2018年10月下旬発行

特集 高齢者ドライブ考 ゆっくり走ろう!

連載

- ・うまい話し新聞別刊……………新田 秀二
- ・私の博物誌……………石川 進

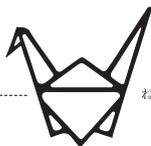
★エッセー

- ・社会は九十九折り……………福迫 昌之
 - ・包み、包まれて……………根本 紀太郎
 - ・ハーブの魔法……………今泉 奈津子
- ほか

月刊りいど City Magazine 2018 10月号

平成 30年 9月 27日 発行
発行/株いわきジャーナル
〒971-8141 福島県いわき市鹿島町走熊字小神山20
(ヤスミツ第1ビル・2-A)
TEL.0246-29-2424・FAX.0246-29-2425
いわきジャーナルホームページ
<http://www.iwaki-j.net/read/>
E-mail:read@iwaki-j.net
※本誌掲載記事等無断転載複写禁
※落丁・乱丁はお取り換え致します

読みは「さほこ」です。
◆「いわき難読地名」(3ページ)の



すこやかに……………ねがいをこめて

公益財団法人 磐城済世会

松村総合病院

☎(0246)23-2161 いわき市平字小太郎1番地1

舞子浜病院

☎(0246)39-2059 いわき市平藤間字川前63番地1

長春館病院

☎(0246)39-3090 いわき市平藤間字川前63番地2

シーサイドパインビルジッ老人保健施設

☎(0246)39-3815 いわき市平藤間字川前63番地5

松村健診センター

☎(0246)22-9915 いわき市平字小太郎1番地8

松村看護専門学校

☎(0246)22-9916 いわき市平字小太郎1番地8

おりづる訪問看護ステーション

☎(0246)22-9950 いわき市平字小太郎1番地1

松村居宅介護支援事業所

☎(0246)22-9961 いわき市平字小太郎1番地1



当法人では地域医療に貢献する職員を求めています

連絡先 公益財団法人磐城済世会 総務部
☎(0246)23-2161